

「学力の三要素」と入学者選抜における「評価方法」との関係

◎：特に強く関連している

○：強く関連している

△：関連している

入試種別		評価方法	知識・技能			思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度	
			AP 1-1	AP 1-2	AP 1-3	AP-2	AP3-1	AP3-2
総合型選抜	チームワーク 思考方式	書類審査 (調査書・課題論文)	◎	○	◎	△	◎	△
		グループワーク (課題解決型ワーク)				○	△	◎
		レポート		○		◎	△	△
		面接				◎	◎	◎
学校推薦型選抜	指定校制 卒業生子女 併設校特別	推薦書・調査書	◎	○	◎		△	△
		小論文		○	○	◎	△	
		面接				◎	◎	◎
	公募制	推薦書・調査書	◎	○	◎		△	○
		小論文		○	○	◎	△	
		面接				◎	◎	◎
特別選抜	社会人	書類審査	△	△	△		○	△
		小論文		○	○	◎	△	
		筆記試験 (英)		◎				
		面接				◎	◎	◎
一般選抜	全学統一方式 共通テスト利用	調査書	△	△	△		△	△
		筆記試験		◎	◎	○		
	2月日程	調査書	△	△	△		△	△
		筆記試験		◎	◎	◎		
	3月日程	調査書	△	△	○		△	△
		筆記試験		◎		○		
		<p>本学部のアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるために、以下に示す選抜方法を実施する。</p> <p>◆総合型選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> 主にグループワーク（課題解決型ワーク）と面接によって、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、レポートによって「思考力・判断力・表現力」を評価する。調査書・課題論文では、「知識・技能」並びに「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する。 						

<p>◆学校推薦型選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文と面接によって、「知識・技能」のほか「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。 <p>◆特別選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文と面接によって、「知識・技能」のほか「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。 <p>◆一般選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験によって、「知識・技能」並びに「思考力・判断力・表現力」を評価する。
--

看護学部 AP

学力の三要素	APNo.	内容
知識・技能	AP1-1	看護学部で学修する基盤として、高等学校相当の知識を幅広く修得している。
	AP1-2	看護学部で学修する基盤として、高等学校「国語」と「英語」を通じて、コミュニケーションスキルの基礎となる読む・書く力を身につけている。
	AP1-3	専門科目を学修する基盤として、高等学校理科における「生物基礎・生物」「化学基礎・化学」分野の知識、並びに数量的スキルの基礎を身につけている。
思考力・判断力・表現力	AP2	他者の意見や考え方を尊重し、自らの考えを整理・表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している。
主体性を持って多様な人々と協働する態度	AP3-1	看護専門職として社会に貢献する強い意志を持ち、自己の資質向上のための課題に、主体性を持って最後まで取り組む態度を有している。
	AP3-2	リーダーシップを発揮し、他者と協力して何事にも積極的に取り組む意欲を有している。